独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業

令和４年度（予備費）独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業

孤立を予防するイチゴ教室とおやつの会
事業報告書

実行委員のみなさま（あいうえお順）	
開発　好博	NPO 法人地域のあそび場ゆとりの　理事長
柄澤　尚江	北広島市役所保健福祉部　理事
北澤　一利	認定 NPO 法人ふまねっと　理事長
佐藤　信一郎	北広島市にし高齢者支援センター　センター長
笠谷　明司	認定 NPO 法人シーズネット　理事
蓑内　豊	北星学園大学文学部　教授
森　満	北海道千歳リハビリテーション大学　学長
柳　厚志	札幌市白石区社会福祉協議会　事務局次長

過疎地における住民主体の健康づくりを支援する
認定 NPO 法人ふまねっと
Non-Profit Organization Fumanet

事業の背景

我が国においては、2000 年以降、終身雇用や新卒一括採用等に基づく日本型雇用慣行が変化し、パートタイム労働者・有期雇用労働者・派遣労働者といった非正規雇用労働者が増加するなど、雇用環境が大きく変化してきました。

また、インターネットの普及等に伴う情報通信社会の急速な進展等により、国民の生活環境やライフスタイルは急速に変化してきました。さらに、人口減少、少子高齢化、核家族化、未婚化・晩婚化、これらを背景とした単身世帯や単身高齢者の増加といった劇的な変化が進み、地域社会を支えた地縁・血縁といった関係性や「つながり」が希薄化の一途をたどりました。

このような雇用環境・生活環境や家族及び地域社会の変化は、雇用形態の多様化や所得格差の拡大等を背景として、職場内・家庭内・地域内において、人が生活を通して問題を共有する機会の減少をもたらしたと言われています。人が人との「つながり」や交流をつくることが容易ではない社会になり、人々が「生きづらさ」や孤独・孤立を感じやすい社会へとかわりました。

そこに 2020 年 1 月、国内で最初の新型コロナウイルス感染者が確認され、緊急事態宣言による飲食店等に対する休業要請や感染拡大防止対策、外出自粛要請が行われたため、生活が一変しました。孤立死や孤独は、今日、緊急性が高い深刻な課題となっています。

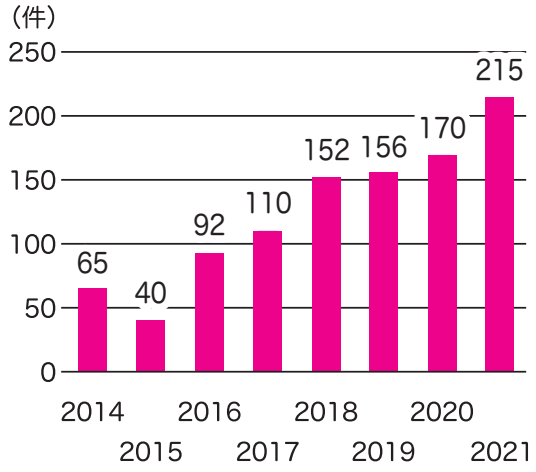
課 題

自殺者数は令和 2 年に総数で前年比 912 人増の 2 万 1,081 人（うち、女性は 7,026 人で前年比 935 人増、児童生徒は 499 人で前年比 100 人増で過去最多）となり 11 年ぶりに対前年比で増加しました。

DV 相談件数は令和 2 年度で 18 万 2,188 件（前年度比 6 万 2,912 件増）、児童相談所における児童虐待相談対応件数は令和 2 年度で 20 万 5,044 件（前年比 1 万 1,264 件増）、小・中学校における不登校児童生徒は令和 2 年度で 19 万 6,127 人（前年度 18 万 1,272 人、前年度比 1 万 4,855 人増）と増えました。

新型コロナウイルス感染拡大は、すでに孤独や孤立が生じやすくなっていた社会において問題を顕在化させ、一層深刻化させる契機になったと考えられます。

北海道内の孤立死件数



北海道保健福祉部地域福祉課提供

事業の概要

自殺や孤立死、不登校やいじめなどの「悲劇」は、「地域」や「学校」や「家庭」とよばれる身近な「場所」で発生しています。それは、私達の目の前でおきているのです。つまり、今日の私達は誰もがこれらの「悲劇」を発生させるひとつの「原因」であることからのがれられなくなっているのです。

これらの「悲劇」を防ぐためには、他の誰でもない「私」が「原因」であることを自覚し、いいかえれば「加害者」であることに気づき、適切な行動をおこさなければなりません。無関心こそ、最も深刻な暴力であるといえるでしょう。

そのような危機感をもとに、認定 NPO 法人ふまねっとは地域の人が「出会い」、良好な関係を築き、親密な交流を継続していけるような「仕掛」をつくることを目的として「イチゴ教室とおやつの会」を開始しました。

「イチゴ教室」は孤立を防ぐための「仕掛」です。午後 1 時から地域住民を対象に 10 名ほどでふまねっと運動とよばれる体操を行います。ふまねっと運動は、参加者に自然な交流を生みだす力を提供します。午後 3 時から 5 時までは、子どもを対象に「学習支援」を行います。小中学生が学校の宿題や家庭学習を持ってきて、大学生がそれを見てあげるのです。「学習支援」は子供と大学生の両方に、やさしくほほえましい「交流」の機会を提供します。

この他に、ふまねっと運動の楽しさを知ってもらうためにアウトリーチ型の「訪問教室」を行いました。そして、関係団体と連携を測るために「おやつの会」を設立しました。願わくば、これが子ども、学生、高齢者の孤立を予防するちっちゃくてあまい「仕掛」になってほしいと期待しています。

1 訪問教室

ふまねっと運動を体験してもらうために訪問して行う教室です。高齢者や障がい者、生活困窮者など参加者の交流や友だちづくりを促進し、信頼関係を築くことを目的に行われました。札幌市と北広島市内の福祉施設や学校、地域団体やサロンを訪問しました。

2 イチゴ教室

午後 1 時から 5 時までの教室を行うところから「イチゴ教室」と名づけました。「認定 NPO 法人ふまねっと」と「NPO 法人地域のあそび場ゆとりの」の事務所を利用して、地域住民を対象に、グループ体操「ふまねっと運動」と「学習支援」を行いました。

3 実行委員会とおやつの会

北広島市役所、札幌市白石区社会福祉協議会、北広島市にし高齢者支援センター、北海道千歳リハビリテーション大学、北星学園大学の有識者の協力をあおぎ、本事業の目的、計画、成果を検討する実行委員会を行いました。また、「イチゴ教室」を担当したスタッフが中心となって、運営に必要となる連携会議「おやつの会」を行いました。

事業報告　① 訪問教室

事業概要

仲間づくりや交流の機会を提供するために、町内会、老人クラブ、サロンなどを行う地域団体を訪問して、ふまねっと運動の訪問教室を行いました。合計 62 回、734 人を対象に訪問してふまねっと教室を実施しました。

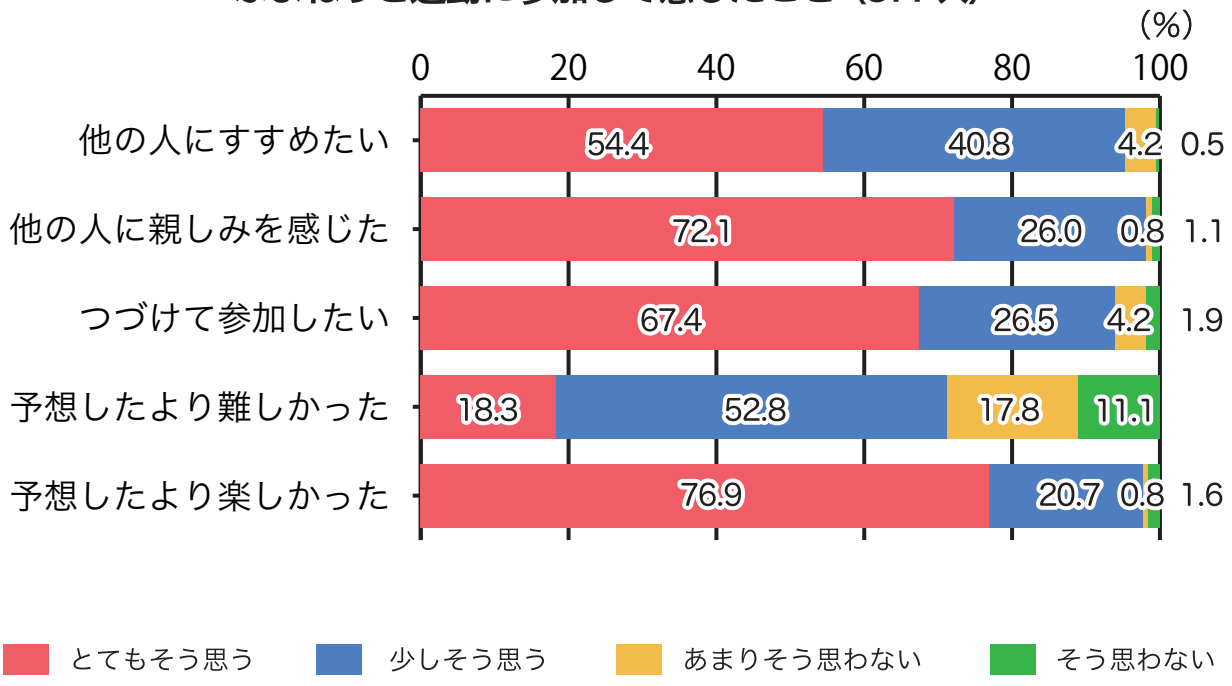
特徴

1. 訪問したのは、主に町内会、老人クラブ、地域の自主的なサロン、不登校の児童生徒を対象とした学校、高齢者福祉施設などでした。
2. 対象は、小学生から 104 歳の高齢者まで幅広く参加しました。また、認知症の人、知的、精神的障害を持つ人が、特別な支援を必要とせず健常者と一緒に参加しました。

成果

1. 参加者の 377 人(51.3%)を対象に行ったアンケートの結果、「ふまねっと教室に参加した他の人に親しみを感じたか」という質問に、「そう思う」と「少しそう思う」と回答した割合をあわせると 98%を超えていました。ほぼ、全員がふまねっと教室で他の参加者に親しみを感じていたことがわかりました。
2. 「つづけて参加したいか」という質問に、「そう思う」と「少しそう思う」と回答した割合を合わせると 93.9%でした。

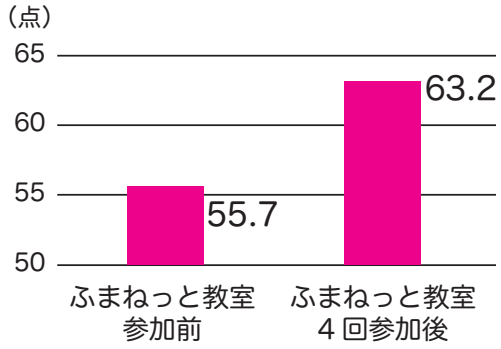
ふまねっと運動に参加して感じたこと（377 人）



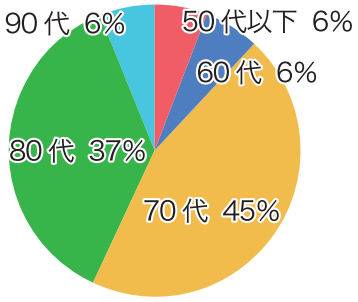
ふまねっと運動の認知機能改善効果

ふまねっと運動の認知機能改善効果を明らかにするために、訪問教室に４回続けて参加した 31 人を対象に参加前と参加後で認知機能の測定を行いました。使用したのは、元北海道大学大学院保健科学院の村上新治教授が開発した「タッチエム」です。その結果、わずか４回のふまねっと運動の参加で、平均得点は 55.7 点から 63.2 点へと 13.4%改善していたことがわかりました。

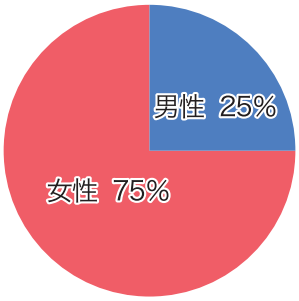
認知機能検査得点の前後比較



ふまねっと運動参加者の年齢



ふまねっと運動参加者の性別



ニューさわやかクラブ

24 名が参加しました。介助が必要な方が数名いました。「また来てほしい」との声が聞かれました。札幌市内のふまねっと教室と、出前教室の紹介を行いました。

札幌市白石区社会福祉協議会

しろいし生活応援「ひだまり」の例会でふまねっと運動を紹介しました。15 名が参加しました。明るい方が多く、とても盛り上がりました。参加者の１名が所属している老人クラブで、この後訪問教室を実施することになりました。

	訪問先	訪問回数	延べ参加人数
1	札幌市白石区本郷町内会福祉部	2	28
2	北広島市大曲憩いの家	5	37
3	札幌市白石区米里町内会	7	106
4	札幌市白石区白石東友寿会	2	14
5	札幌市白石区社会福祉協議会	1	15
6	札幌市白石区ひだまりサロン	1	6
7	札幌市豊平区生活クラブ館とよひら	5	24
8	札幌市白石区ふれあいサロン南郷台	2	24
9	札幌市厚別区厚別西地区センター	1	11
10	札幌市白石区ハナの会	10	93
11	札幌市認定 NPO 法人シーズネット茶話会	1	5
12	札幌市白石区アースサポート札幌白石	2	35
13	札幌市清田区ニューさわやかクラブ	2	45
14	北広島市みらい塾	3	12
15	北広島市地域活動支援センター MHC	4	20
16	札幌市認定 NPO 法人シーズネット	1	10
17	札幌市清田区清幌園	1	18
18	北広島市老相会	4	87
19	札幌市豊平区善通寺	1	16
20	札幌市手稲区手稲交流会	1	24
21	札幌市手稲区すこやか GYM	1	18
22	札幌市清田区こもれび緑優会	1	16
23	札幌市中央区サービス付き高齢者住宅 創成川イースト	2	24
24	札幌市手稲区新発寒地区健康づくり委員会	1	22
25	札幌市白石区サロンきらく	1	24
	合計	62	734

事業報告　② イチゴ教室

事業概要

1. 北広島市の『NPO 法人地域のあそび場ゆとりの』、札幌市白石区（しろいしく）の『認定 NPO 法人ふまねっと』の 2 箇所で、高齢者対象の健康づくりと子ども対象の学習支援を提供する『イチゴ教室』を週 1 回開催しました。
2. 午後 1 時から午後 5 時まで行うので『イチゴ教室』と名づけました。
3. 『NPO 法人地域のあそび場ゆとりの』のイチゴ教室では、『北広島市にし高齢者支援センター』および『子育て支援ワーカーズほっとまむ』の協力を得て、開催することができました。
4. 『認定 NPO 法人ふまねっと』のイチゴ教室では、『認定 NPO 法人シーズネット』『学生団体 wacco（わっこ）』および『ふれあいひろば どんぐりっこ』の協力を得て、開催することができました。

NPO 法人地域のあそび場ゆとりイチゴ教室

8 月 25 日～ 3 月 30 日

11 月までは毎週木曜日開催
12 月から、健康づくりは毎週木曜日
学習支援は毎週土曜日に変更（年末年始除く）

協力
NPO 法人地域のあそび場ゆとりの
北広島市にし高齢者支援センター
子育て支援ワーカーズほっとまむ
ふまねっとサポーター
星槎道都（せいさどうと）大学学生のみなさん

認定 NPO 法人ふまねっとイチゴ教室

9 月 1 日～ 3 月 30 日

毎週木曜日開催（祝日・年末年始除く）

協力
認定 NPO 法人シーズネット
栄通 19・20 丁目町内会
学生団体 wacco（わっこ）
ふれあいひろば どんぐりっこ
ふまねっとサポーター

NPO 地域のあそび場ゆとりのイチゴ教室（北広島市）

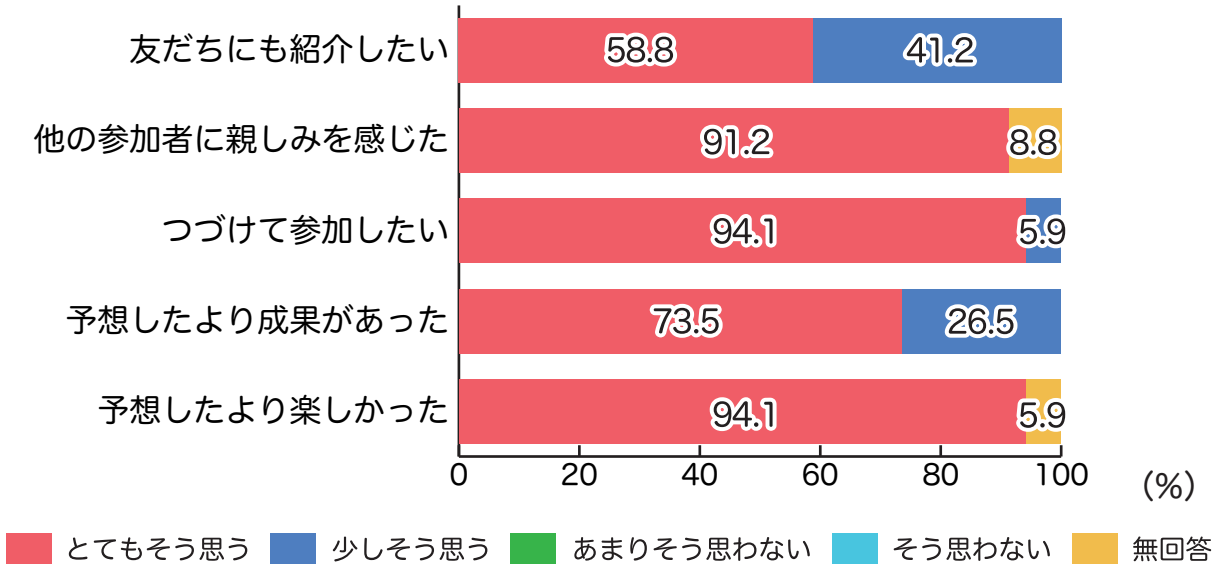
回数	高齢者参加人数	高齢者指導者数	子ども参加人数	保護者等参加人数	学習支援人数
44	265	86	115	54	94

認定 NPO 法人ふまねっとイチゴ教室（札幌市白石区）

回数	高齢者参加人数	高齢者指導者数	子ども参加人数	保護者等参加人数	学習支援人数
28	260	88	182	64	122

いずれも 3 月 25 日まで

NPO 法人地域のあそび場ゆとりの（北広島市）イチゴ教室アンケート（34 人）

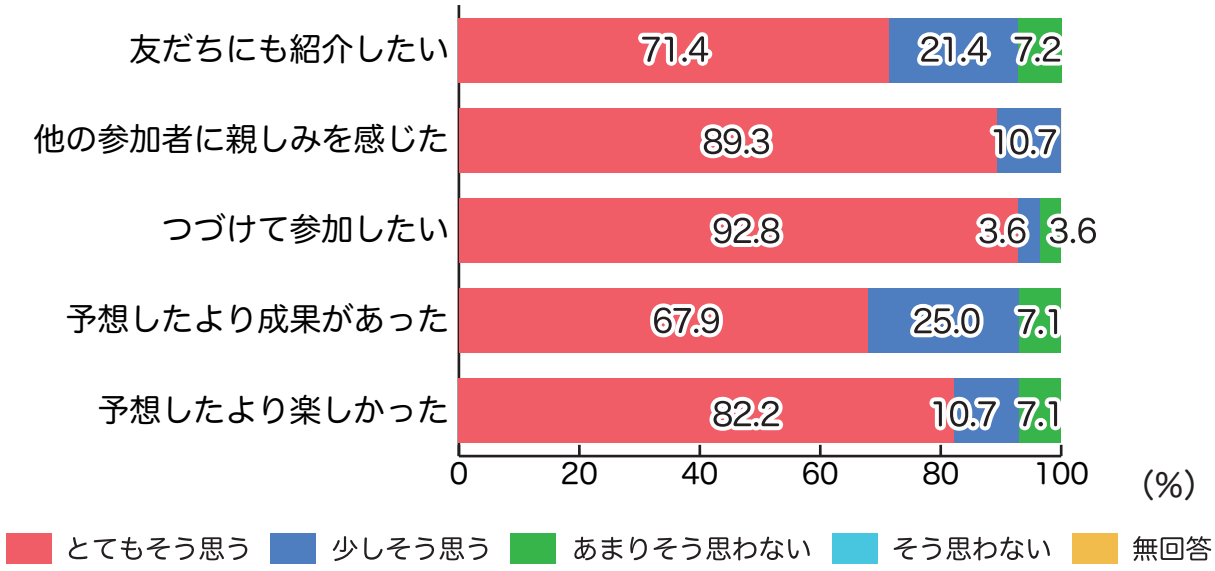


80 代男性

⑦日参加して感じた感想や発見したことを自由に書いてください。

現在一人暮らしで家にいれば外には人と接わ
あまく しゃべる事少く孤独な日々となっている
ボーンの教室に参加した事で皆と和気あい
あいに楽しい一時を過ごせ 毎日に楽しいよ
様子だと思っています。

認定 NPO 法人ふまねっと（札幌市白石区）イチゴ教室アンケート（28 人）



70 代女性

⑧イチゴ教室に参加した感想を教えてください。自分自身や仲間の変化、嬉しかったことなどがあれば教えてください。

いつも楽しく参加出来 また次回と一週間が早く感じます

北広島市 NPO 法人地域のあそび場ゆとりの「イチゴ教室」

高齢者対象の「ふまねっと運動」の様子です。ステップが終わり、隣で一緒にステップに挑戦していた方と、エアタッチをしている写真です。真剣な表情でステップに挑戦していたので、エアタッチの瞬間はみなさん笑顔がこぼれます。

子どもの学習支援の時間で、みんなでクリスマスかざりをつくっている様子です。無事きれいなクリスマスツリーができました。このあとはみんなでビンゴゲームをして盛り上がりました。

子どもの学習支援の時間で、スノーキャンドルをつくっている様子です。スノーキャンドルをつくったことがあるという子は少なかったです。92 歳の女性もいっしょにつくってくれました。

子どもの学習支援の時間で、みんなで百マス計算に挑戦しました。ほかにも早口言葉や発音が難しい単語をつかって遊びながらみんなで学習しました。その後はグループに分かれて卓上ゲームやイス取りゲームを楽しみました。

札幌市白石区　認定 NPO 法人ふまねっと「イチゴ教室」

高齢者対象の「ふまねっと運動」の様子です。ステップが終わり、エアタッチをしている写真です。座って順番を待っている方も拍手を送り、みんな笑顔に変わります。

「ふまねっと運動」が終わったら茶菓をいただきながらおしゃべりを楽しむおやつタイムです。コロナの感染が拡大してからおやつタイムの開催は中断となってしまいました。

子どもの学習支援で、宿題や家庭学習に励んでいる様子です。勉強が終わったら折り紙やお絵かき、卓上ゲームなどを楽しみました。みんなで流行のダンスにも挑戦しました。

クリスマスイベントを開催しました。近所で子ども食堂を運営している「ふれあいひろば どんぐりっこ」さんに教えていただいて、みんなで豚汁とおにぎりをつくりました。とてもおいしくできました。その後、クリスマス飾りづくりやクリスマス工作に挑戦しました。

事業報告　③ 実行委員会とおやつの会

事業概要

「イチゴ教室」を運営するために「おやつの会」と称する支援組織を設立して会議を行いました。メンバーは、おもにイチゴ教室を担当する認定 NPO 法人ふまねっとと NPO 法人地域のあそび場ゆとりののスタッフ、その協力者である北広島市にし高齢者支援センターの職員です。

また、次年度以降の活動継続のために「実行委員会」を組織して、行政機関や学識経験者に連携協力をあおぎました。

内容

1. 「おやつの会」では、毎月 1 回の会議を開いて「イチゴ教室」の参加者の情報、参加者の募集方法の検討、指導内容の改善を行いました。
2. 「実行委員会」では、事業全体の目的、計画、方針の検討を行いました。また、事故防止や安全管理、倫理的な配慮に不足がないか、個人情報の保護について点検や確認を行いました。

成果

1. 「おやつの会」の検討の結果、札幌市の「学生団体 wacco（わっこ）」の協力、北広島市の「子育て支援ワーカーズほっとまむ」や白石区の子ども食堂の「ふれあいひろば どんぐりっこ」などの団体と連携につながりました。
2. イチゴ教室を継続するための「担い手」を養成するために、教室の参加者や地域住民を対象に協力者の募集を行ったところ、大学生 6 名がふまねっと運動の指導者である「ふまねっとサポーター」として資格を取得しました。
3. 「実行委員会」では、札幌市白石区社会福祉協議会、北広島市役所保健福祉部、北海道千歳リハビリテーション大学、北星学園大学から専門家および学識経験者の協力を得ることができました。
4. 実行委員の紹介で、訪問教室の訪問先の団体を多く集めることに成功しました。その結果、不登校の子供の教育機関、メンタルヘルスクラブ、認知症高齢者の宅老所などの団体にふまねっとを紹介することができました。

ご協力いただいたみなさま

NPO 法人地域のあそび場ゆとりの　　理事長　開発好博

■ 団体紹介

子どもから子育て世代、そして高齢者を含む地域の人々の、世代を超えた交流の場所「地域のあそび場」として活動しています。普段は高齢者の健康維持増進のためのプログラムや、子育て世代や子どものための活動を行い、地域での交流を深めています。

■ イチゴ教室について

前半の「ふまねっと運動」は、もともと NPO 法人ゆとりのの活動で行っていたこともありますが、参加者にとっても指導者（ふまねっとサポーター）にとっても、改めて活動の意義や成果を確認する機会になり、意欲の向上につながりました。学習支援は、コロナの関係でなかなか踏み切れなかった子ども対象の活動の立ち上げに着手する機会となり、実現できたことは大きなことでした。

イチゴ教室の目的は「孤立予防に寄与する」でありますが、その成果が確実に数値で現れるためには時間がかかります。したがって今後とも継続することが大事です。そうしたことを前提に今後の活動の課題を考えると、「ふまねっと運動」では楽しく参加し、友達が増えたという実感が持てることが大切です。学習支援では、学校で学んだことを生かすような学習、学校では学べないこと、グループでのあそびや創作などが、それぞれの成長に寄与でき、ひいては孤立予防に寄与すると考えています。今後は異なる年齢の交流 (幼小中など) や高齢者との関わりなど、多世代がともに楽しめる機会にしたいです。

北広島市にし高齢者支援センター　　センター長　佐藤信一郎

■ 団体紹介

北海道北広島市の西部地域を担当する地域包括支援センターです。65 歳以上の方の生活、福祉などの相談窓口業務を主に行っています。

■ イチゴ教室について

高齢者支援と子ども支援は制度的には分かれていますが、今後は制度を超えた「繋げる仕掛け」が必要と考えています。イチゴ教室はお子さん、高齢者、大学生と、多世代が繋がるきっかけとなりました。イチゴ教室への参加を通して、私にとっても新たな出会いが増えました。私は高齢者支援の業務をしていますが、今後はどのようにお子さんと繋がるかを考えていきたいです。

イチゴ教室は孤立予防を目的とした活動でありましたが、①お子さんとの関わりをつくり、②周知し教室を継続開催しながら、③困っている方を見つける、という段階的な活動だったため、時間が不足していました。もっと時間をかけて継続することで、成果が見えてくるのではないでしょうか。また大学生の役割が大きいためため、どのように継続していくかがカギとなるのではないでしょうか。大学生がアルバイトの代わりに選択してくれるようになる活動となれば、参加したいと思う学生も増えるのではないでしょうか。

学生団体 wacco（わっこ）　代表　菅野賢人

■ 団体紹介

wacco（わっこ）は医療系の大学生が、介護保険等では賄（まかな）うことのできない高齢者の趣味のお手伝いや買い物の付き添いといった活動を有償ボランティアとして行う学生団体です。活動をしている中で「一週間ぶりに人と話した」と話すおじいちゃんや「普段は一人で過ごしていて寂しい」と話すおばあちゃんと出会う機会があり、孤独に暮らしている人たちが札幌市にもたくさんいることを知りました。

■ イチゴ教室について

認定 NPO 法人ふまねっとのイチゴ教室は、wacco（わっこ）の理念『だれ一人取り残さない社会に貢献する』に合致すると思い、イチゴ教室に参加させていただくことを決めました。

前半の「ふまねっと運動」では、初めは緊張していた参加者も最後はみんなで笑顔になれていることが何よりも印象的で、人と人とのつながりを持つことができる場所になっていると実感しました。後半の子ども学習支援教室では、はじめは子どもたちも大学生もお互いどこかよそよそしかったですが、次第に仲良くなると「〇〇先生今日は来ていないの？」と子供たちが私たちのことを気にかけてくれたり、このイチゴ教室が一つの「居場所」になっていることを実感しました。

イチゴ教室は多世代をつなぐみんなの「居場所」になれたと思います。コロナウイルスを経験し、今まで以上に人とつながらなくなった人たちが年代を問わず増えてきてきいています。コロナ禍という厳しい環境下での活動でしたが、改めて人とつながることの大切さや、人と人とをつなぐ居場所の重要性について学ぶことができました。

子育て支援ワーカーズほっとまむ　代表　亀岡菜穂子

■ 団体紹介

2009 年から北海道北広島市を中心に子育て支援活動を行っています。イベント託児などの保育事業を請け負うほか、親子ひろばや小学生ひろば、放課後ルーム、おもちゃを貸出・体験できるおもちゃ図書館を運営しています。子どもたちの成長を見守り、親子の気持ちに寄り添いながらいろいろな視点から子育てのお手伝いをしています。

■ イチゴ教室について

孤立を予防するための居場所は大切だと感じていましたので、参加することでよい経験をさせていただきました。日頃活動している地域ではないところだったので、新たな子どもたちや地域の方と出会うことでき、雰囲気を知ることができて良かったです。また、学生さんとの関わりで私たちが学ぶ部分も多々ありました。ありがとうございました。

短い期間で、居場所として定着し、また必要な方に届くようにするのは難しく感じますが、まずはスタートし 1 年継続したことに意義があると思いました。小学生だけでなく親子さんや中学生も来場し、地域の方や学生と交流しており、他ではない貴重な場だと思いました。

孤立予防のための居場所であるためには、常設であることが必要と思われますが、そのための財源と人材の確保が課題だと思いました。

イチゴ教室スタッフの声

NPO法人地域のあそび場ゆとりのイチゴ教室（北広島市）

音楽療法士アシスタント / ふまねっとサポーター M・Y

参加者の方々があたたかくて楽しいです

高齢者でも年齢によって伝え方が違う事に気付かされ、とても勉強になりました。参加する高齢者の方々があたたかく、イチゴ教室に参加するのが楽しいです。以前は自信がなくふまねっと運動に参加していた方が、今は自信をもって取り組んでいる姿はとても嬉しく思いました。

赤十字奉仕団 / ふまねっとサポーター T・Y

人に運動指導することが初めは緊張しました

人に運動指導することが初めは緊張しましたが、徐々に楽しむことができるようになってきました。高齢者がステップの失敗を繰り返しながらも成功して笑顔で喜んでいる時はとても嬉しく、ほっとします。これからもふまねっと運動を通して皆さんと楽しんでいきたいと願っています。

NPO ゆとりの / ふまねっとサポーター K・K

満足そうにニコニコ笑顔で帰られます

健康教室については、以前は休みがちでしたが出席回数が増えた参加者がいます。毎日満足そうにニコニコ笑顔で帰る姿を見ると嬉しくなりました。学習支援については試行錯誤しましたが、参加したお子さんから「イチゴ教室がずっと続きますように」との言葉が聞かれ、とても嬉しく思いました。

子育て支援ワーカーズほっとまむ T・A

子どもたちの笑顔でうれしい気持ちになりました

幼児、小学生、中学生、大学生、親世代、高齢者、いろいろな世代の方と関りを持てて勉強になりました。子どもたちが笑顔で「楽しい。また来たい。」と言ってくれてうれしい気持ちになりました。参加して良かったです。

星槎道都大学 I・H

自分にとっても刺激になり、学ぶことが多いです

私たちも子どもたちも初めはお互いに緊張もありましたが、今はたくさんお話をして、毎週来てくれる子もいてすごく嬉しいです。イチゴ教室がこれからも続いてくれたら良いなと思っています。小・中学校や幼児と関わることで自分にとっても刺激になり、学ぶ事が多いです。

星槎道都大学 N・K

子どもの居場所となる存在になれて嬉しかった

子どもたちの日々の成長がよく分かりました。「次来た時はこれしよ」と約束をしてくれて、その子にとっての居場所となる存在になれていることが感じられて、嬉しかったです。イベントで「イチゴ教室が続いて欲しい」と短冊に書いてくれている子もいて嬉しかったです。

イチゴ教室スタッフの声

認定 NPO 法人ふまねっとイチゴ教室（札幌市白石区）

ボランティア / ふまねっとサポーター H・T

高齢者の嬉しそうな表情を見ると感動しました

ふまねっと運動では、なかなかステップを覚えられない高齢者に対して、大学生や他の参加者からの応援がすばらしかったです。最後まで一生懸命取り組んでいる姿や、出来た時の嬉しそうな表情を見ると私も感動しました。「楽しいから休まないでくるよー」と言ってもらえて嬉しかったです。

ボランティア / ふまねっとサポーター Y・K

それぞれの世代でお互いに学び合える素晴らしい教室

ふまねっと運動教室で学生さんが参加される時は、ステップが上手く出来ない高齢者に対し、優しく応援したり、励ましたりと微笑ましい光景が見られました。イチゴ教室は、高齢者、学生、子どもがそれぞれの世代でお互いに学び合える素晴らしい教室です。

北海道大学大学院 / 労働と福祉を守る会 M・M

地域で支え合う、気軽に集まれる場所の存在は大きい

高齢者が普段どのような悩みを抱えているのか学ぶことができました。自分自身もヤングケアラーとして大変だった経験があるので、住民同士が地域で支え合い、気軽に集まることができる場所の存在は大きいと思います。多世代で集まれる場所の大切さを改めて実感しました。

札幌医科大学 H・N

学生もできることを真剣に考えました

小学生の子達がいろいろな話を聞かせてくれたり甘えてくれたりして、まっすぐなコミュニケーションとはどういうものか、気づかされました。学生もできることを真剣に考えました。教室終了後に子どもの様子や教室の改善点を学生ひとりひとりがノートに記録し、発表しあっていることに感銘を受けました。

札幌医科大学 N・A

一人一人に合った接し方が必要なんだと学びました

自分がどれくらいお手伝いをすれば子どもたちの成長に繋がるのか考えながら活動していました。ふだん物静かな子とも遊びながらいろいろ話せたことが嬉しかったです。いろんな子どもがいて、一人一人に合った接し方が必要なんだと学びました。

北大医学科公認サークル IFMSA
/ 日本熱帯医学会学生部会副代表 T・Y

すごく面白く有意義な活動

徐々に来てくれる子どもが増えていったことや、子どもたちと一緒に勉強したり遊んだりできたのがすごく嬉しかったです。放課後一緒に遊べる大学生として参加できたのは楽しかったです。すごく面白く有意義な活動でした。

イチゴ教室にご協力いただいた皆さまからたくさんコメントをいただきました。
ここで紹介しきれなかった分はホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

おわりに

孤立予防の取り組みは、始まったばかりです。内閣官房が「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」を設立したのは、今から約１年前の令和４年２月のことでした。現時点では、その有効な打開策をみつけるための手探りの状態がまだ続いています。

本事業で、私達が行った「イチゴ教室とおやつの会」は、「イチゴ」や「おやつ」を利用して、困窮者、高齢者、子供をおびきよせ、孤立から防ごうとする試みでした。高齢者は、比較的順調に参加者が集まりました。しかし、子供は予想していたほど集まりませんでした。

高齢者対象には、健康教室でふまねっと運動を行うのが楽しい仲間づくりに繋がるという手応えを得ました。ところが、子ども対象には「孤立予防として何をしたらいいか」、最後まで回答を見つけるには至りませんでした。

幸い、今回の事業を通じて、私達は多くの協力団体、NPO 法人、行政機関、学識経験者の連携協力を得ることができました。この連携協力は、今後の課題の解決に大きな力となると確信しています。

今回の事業の成果と経験を来年度以降の活動に活かし、地域の住民活動の力や資源をさらに高めていくことが、独立行政法人福祉医療機構の助成事業を行う最大の成果であると感じております。

令和５年３月 31 日　認定 NPO 法人ふまねっと　理事長　北澤一利

認定 NPO 法人ふまねっと

〒 003-0021　北海道札幌市白石区栄通 19 丁目 2-7

011-807-4667　www.1to3.jp　info@1to3.jp

SNS 公式アカウント

フォロー・いいね お願いします
世界中に元気と笑顔を届けよう！

Twitter ／ツイッター

Instagram ／インスタグラム

Facebook ／フェイスブック

YouTube ／ユーチューブ